

# 名瀬保健所感染症情報

第48週報（令和6年11月25日～12月1日）

疾患名	奄美大島 (定点数 4)	※協力医療機関（参考）	
		瀬戸内（1）	喜界島（1）
インフルエンザ	5	0	2
COVID-19	6	0	1

疾患名	奄美大島 (定点数 2)	※協力医療機関（参考）	
		瀬戸内（1）	喜界島（1）
RSウイルス感染症	0	0	0
咽頭結膜熱	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	1
感染性胃腸炎	0	0	0
水痘	0	0	0
手足口病	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0
突発性発しん	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0

- ・インフルエンザの報告数は、奄美大島 5 人，瀬戸内 0 人，喜界町 2 人でした。（A 型）
- ・COVID-19の報告数は、奄美大島（6人），瀬戸内（0人），喜界（1人）でした。
- ・インフルエンザの報告数は、前週に比較し減少傾向にあります。例年，年末年始にかけて流行傾向にあるので，引き続き，流行前のワクチン接種や飛沫感染対策のマスク着用，手洗い励行など，基本的な感染対策を実施するようお願い致します。

## <トピックス>

・11月から12月かけて、3件のレプトスピラ症(4類感染症)の発生届が出ています。

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラを腎臓に保菌する動物（ネズミやイノシシなどの野生動物や家畜等）の尿や、その尿によって汚染された淡水や土壌との接触で感染する動物由来の感染症です。レプトスピラはらせん状の細菌です。川でのレジャーや農作業、台風や大雨後の作業の際に感染することがあります。

潜伏期間は3日～14日で、突然の悪寒、戦慄、高熱、筋肉痛、眼球結膜の充血が生じ、4～5病日後、黄疸や出血傾向が増強する場合があります。感冒様症状のみで軽快する軽症型から、黄疸、出血、腎障害を伴う重症型（ワイル病）まで多彩な症状を示します。

## <予防対策>

- 1 河川や水田での水との接触後は、手洗いやシャワー等を浴びて清潔にしましょう。
- 2 川などでレジャーを行う場合は、肌を露出しないよう適切な服装を着用しましょう。
- 3 皮膚に傷などがある場合は、川や水田等での作業を避けるか、雨靴やゴム手袋等を着用・保護し、水との接触を避けるようにしましょう。

**※症状が改善しない場合は、医療機関を受診しましょう。**

## 参考文献

国立感染症研究（レプトスピラ症情報） ▼

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/531-leptospirosis.html>

厚生労働省検疫所（レプトスピラ症（ワイル病）） ▼

[https://www.forth.go.jp/keneki/kanku/disease/dis09\\_06lep.html](https://www.forth.go.jp/keneki/kanku/disease/dis09_06lep.html)